



# 福 小 だ よ り

学校教育目標「自分や他者を理解し受け入れ、相互協力しながら、問題を建設的に解決できる力の育成」

【目指す子ども像】  
自分を大切にする子  
いろいろな考えがあることを認める子  
自分で決めることができる子  
決めたことをやりとげる子

## 目標達成に不可欠な「やり抜く力」を育てる

校長 長浦 紀華

20日間に及んだ冬休みを終え、子どもたちの元気な声が学校に戻ってまいりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

冬休み明けの全校朝会で、私は子どもたちに「新しい年、自分だけの『志』を立てよう」と話をしました。一年の計は元旦にありと言われますが、大切なのは目標を立てるだけでなく、その実現に向けてどのように一歩を踏み出すかです。子どもたちが自分の可能性を信じ、努力を積み重ねる一年となるよう、教職員一同、全力で伴走してまいる所存です。

本校では、学校教育目標として「4つの目指す子ども像」を掲げております。その中でも今年度、特に重点を置いているのが「自分で決めることができる子」と「決めたことをやりとげる子」の2つです。

予測困難な時代を生き抜く子どもたちにとって、最も必要な資質の一つが、心理学の世界でも注目されている「やり抜く力 (GRIT)」です。この「やり抜く力」を育成することは、目標達成に不可欠な次の「8つの要素」をバランスよく高め、単に「我慢強い子」になるだけでなく、これから的人生を豊かにする具体的なスキルが育ちます。

- ① 計画力がつく：目標達成のために計画を立て、実行する力が身につきます。計画を成功させた経験が「やればできる」という自信を育み、次の挑戦への意欲を生みます。
- ② 危機管理力がつく：困難に直面したときも、冷静に対処する力が育ちます。トラブル時に計画を修正しながら目標に向かう力は、失敗を恐れず柔軟に対応できる「心のベース」となります。
- ③ 目標を達成する力が強化される：挫折せずに努力を続けられるようになります。例えば「逆上がりができるようになる」という目標に向かって練習を続けた経験は、将来の大きな目標を達成するための原動力になります。
- ④ 効率良く行動できる：効率的に作業を進める工夫ができるようになります。宿題を早めに終わらせて遊ぶ時間につくるなど、生活を充実させ、心に余裕をもった行動が可能になります。
- ⑤ 期限を守れる：約束や締め切りを守る習慣が身につきます。宿題の提出などで周囲の信頼を得ることは、達成感や次の目標へのモチベーションに直結します。
- ⑥ 責任感が育つ：自分の役割を果たす責任感が芽生えます。グループ活動などで約束を守ることで仲間からの信頼が深まり、自己肯定感も高まります。
- ⑦ 自己効力感が高まる：「自分にはできる」という感覚が強まります。小さな成功体験の積み重ねが、新しい挑戦を楽しむ力へと変わり、挑戦の連鎖を生みます。
- ⑧ 自分を管理する力が身につく：自己管理能力（セルフマネジメント）が高まります。日常生活が充実し「自分をうまくコントロールできている」という実感が揺るぎない自信を育てます。

そして、子どもたちの「やり抜く力」を育むためには、私たち大人の関わり方が重要です。指示や命令で動かすのではなく、子ども自身が「自分で決める」ための問い合わせを意識したいものです。

例えば、宿題を後回しにしている時、「早くしなさい」ではなく、「どの時間にすると一番いいかな?」と考えさせる。ゲームに夢中な時、「やめなさい」と奪うのではなく、「時間を決めると、ほかの楽しいこともできるよ」と諭す。また、ルールを守れなかった時、「なんでできないの」と責めるのではなく、「何があったのか教えてくれる?」と質問し、内省を促す。

「やり抜く力」は一朝一夕に身につくものではありません。時には失敗し、立ち止まることもあるでしょう。しかし、その都度「どうすればいいか」を自ら考え、再び歩み出す経験こそが、子どもたちを強く、賢く成長させます。

ご家庭におかれましても、結果だけを評価するのではなく、その過程にある「続けようとする姿」を認め、励ましていただければ幸いです。学校と家庭が手を取り合い、子どもたちの「やり抜く力」をじっくりと育んでいきましょう。

## 雪遊びを楽しんでいます

1月16日(金)に、1年生が生活科の学習で雪遊びをしました。雪だるまを作ったり、用務員さんに手伝ってもらい山を作り滑ったり、この時期ならではの楽しい時間を過ごしていました。

19日(月)からは、全校でも中庭での外遊びができるようになりました。たくさん雪が積もったので、休み時間に外に出て遊んでいる子が増えました。

冬になるとどうしても運動不足になります。なわとび週間も19日から始まったので、たくさん体を動かして、健康に過ごしてほしいと思います。

なお、外遊びをする際は、帽子、手袋、上下の防寒着、冬靴が必要です。どれか一つでも足りないと、雪遊びはできません。準備等、ご協力をお願いいたします。



## 冬休み自由研究作品展

夏に比べると短い冬休みですが、4名の児童から作品が出品されました。5年生小林詠夢さんの「戦艦三笠について」、小間柚羽さんの「ダイアモンドアート」、木村雄星さんの「メガチャブル」、3年生対馬偉央さんの「小林パラダイス」です。

どの作品も、自分が関心のあることについて、主体的に調べたり、深めたりし、分かったことや気付いたことを自分なりに表現しています。

こうした学びは、子どもの探究心を育てるとともに、自分で決めた学びを最後までやり抜く力を育てます。そして、完成した時にできた自分に誇りを感じ、自己肯定感を育むことにもつながっていきます。

日常からこのような学びの機会を大切にしたいものです。



## 冬の体力づくり

1月19日(月)~30日(金)まで、「なわとび週間」が行われました。

自分で目標回数を決めて挑戦している子、みんなで長縄跳びを楽しんでいる子、福島小の子どもたちは、寒さに負けず、元気いっぱいです。

なわとび週間は終わりましたが、体を動かすことは抵抗力アップにつながります。体育館や外でたくさん遊んで、寒い冬を楽しく乗り切ってほしいと思います。



## 2月行事予定

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
2	月	全校朝会	16	月	全校集会
4	水	特別日課・職員会議・がん教育(6年生6時間目)	18	水	特別日課
5	木	金曜日課・委員会⑥	20	金	全校音楽・委員会⑦(反省)・特別支援学級校外学習(函館)
6	金	木曜日課・漢字検定・福中新入生体験入学(6年生)	24	火	4時間授業・特別支援学級交流学習(福島中)
9	月	明治安田生命サッカー教室(3・4年生)	25	水	4時間授業・6年生を送る会
10	火	移動図書・学級文庫交換	26	木	4時間授業
12	木	スクールカウンセラー来校	27	金	4時間授業
13	金	クラブ⑧・週末読書・算数検定			

## 指導をお願いします

今年の福島町は雪が例年よりも多いようです。そこで次の2つを各ご家庭でもお子様にご指導ください。

①道路を渡る時に、車が来ていないかよく見ること(道路に雪が積まれておらず、見えづらくなっています)。

②軒下を通ったり、遊んだりしない(屋根に大量の雪が・・・。落雪が心配です)。